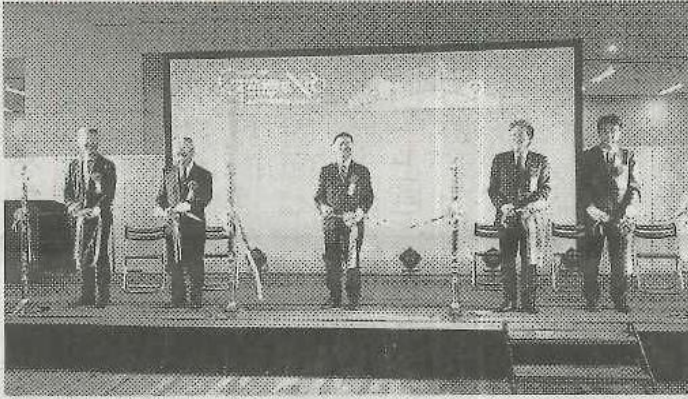


最先端の技術・サービスを紹介



関係者によるテープカット

G空間EXPO2023が7、8の両日、東京都港区の東京都立産業貿易センター浜松町館で開かれている。13回目を迎える今回は「いま、ここ、未来。すべてはG空間の中に。」をテーマとし、日本測量協会と全国測量設計業協会連合会、日本測

G空間EXPOが開幕

量機器工業会、日本測量調査技術協会の測量関係4団体が主催する地理空間情報フォーラムを中核イベントに、日本のG空間社会を支える最先端の技術やサービスを多彩な展示や講演・シンポジウムなどを通して紹介している。

7日のオープニングセレモニーでは、運営協議会を代表して大木章一国土地理院長が「このG空間EXPOには日本のG空間社会を支える産学官民の皆さんが集結している。さまざまな人たちの交流によりG空間社会の未来が切り開かれることを祈念する」と國場幸之助国土交通副大臣のあいさつを代読した。産業界を代表して日本測量協会の清水英範会長は「今回は若い世代によって創業され急成長

して注目されている七つのベンチャー企業に、地理空間情報フォーラムに初めて展示してもらった。こうした若い力で日々進化し、活性化しながら大きく成長しているG空間社会とその輝く未来を感じ取ってもらいたい」と呼び掛けた。学を代表して地理情報システム学会の藤網林会長も「現実の空間と仮想の空間を行き来して最先端のG空間技術を体験できるG空間EXPOこそデジタルツインのショーウィンドーではないか」と語った。

今回も現地会場とオンラインのハイブリッド開催となる。オンラインでは講演シンポジウムを中心にG空間社会の最新動向を紹介する。アーカイブ配信は12月10日まで。